

学習指導と学校図書館

担当教員 望月 道浩

対象学年 3年

単位区分 必

準備事項

備考

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

司書教諭として、学校図書館をベースとしながら各種メディアを活用した学習指導を計画・実施するための学習論と教育方法について解説するとともに、マイクロ・ティーチングを通して指導方法を実践的に考究するため、以下の事項をねらいとします。

- (1) 教育課程の展開と学校図書館との関連について理解する。
- (2) メディア活用能力育成のための指導内容について理解し、実践できる。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション「本科目の概要について」
2	学校図書館メディアの意義
3	学習活動と学校図書館
4	メディア活用能力の意義と目的
5	メディア活用能力の指導内容の具体例（1）
6	メディア活用能力の指導内容の具体例（2）
7	メディア活用能力育成の計画
8	メディア活用能力育成の展開
9	メディア活用能力育成に関わる評価
10	レファレンスサービス(1)：内容
11	レファレンスサービス(2)：実際
12	レファレンス資料の整備
13	ネットワークの活用
14	学校図書館活用マイクロ・ティーチング(1)
15	学校図書館活用マイクロ・ティーチング(2)
16	試験

【履修上の注意事項】

出席日数が3分の2に満たない者には、原則として単位を与えない。

【評価方法】

授業への参加度（10%）、授業で課す課題（30%）、及び最終試験又はレポート(60%)によって評価する。

【テキスト】

適宜、プリントを配付します。

【参考文献】

適宜、紹介する。

学校経営と学校図書館

担当教員 吉田 肇吾

対象学年 3年

単位区分 必

準備事項

備考

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

学校教育全体における学校図書館の位置づけ及び機能について概観する。
そして、学習活動の中での情報やメディアの役割を踏まえた上で、学校及び学校図書館の経営を教育活動の視点からとらえる。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション：学校教育と学校図書館について
2	学校教育と学校図書館①：意義と理念
3	学校教育と学校図書館②：現状と課題
4	学校教育と学校図書館③：新たな役割
5	学校図書館の制度
6	学校図書館の職員
7	学校図書館の経営①組織・運営
8	学校図書館の経営②施設・設備
9	学校図書館のメディア①：種類と内容
10	学校図書館のメディア②：コレクションの構築
11	学校図書館のメディア③：組織化と提供
12	学校図書館の活動①：基礎的活動
13	学校図書館の活動②：現状
14	学校図書館の評価
15	学校図書館の課題と展望
16	試験

【履修上の注意事項】

出席回数が3分の2に満たない者には、原則として単位を与えない。

【評価方法】

出席状況及び期末試験（またはレポート）による総合的評価とする。

【テキスト】

【参考文献】

「学校経営と学校図書館」同編集委員会編 全国学校図書館協議会 2011（シリーズ学校図書館学1）
「学校図書館・司書教諭講習資料」第6版 全国学校図書館協議会編 全国学校図書館協議会 2009

学校図書館メディアの構成

担当教員 山口 真也

対象学年 3年

単位区分 必

準備事項

備考

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

学校図書館が取り扱うメディアの種類、役割を理解した上で、選択・収集・組織化の方法について実践的に学習するとともに、学校教育における学校図書館の重要性、司書教諭のミッションを多様な視点から学びます。

【授業の展開計画】

<到達目標>①学校図書館メディアの多様性、収集・提供方法、司書教諭の役割に結びつけて理解できる。②学校図書館メディアを組織化する技術(分類・目録)を習得する。③学校図書館メディアを適切に維持・管理・運用するための資料排架法・廃棄、保存方法を修得する。④授業内容をふまえて、理想的な学校図書館のメディアの構成のあり方(特に館内レイアウト)を提案できる。

週	授 業 の 内 容
1	ガイダンス・学校図書館メディアの選択・収集(1)：メディアの種類と特性
2	学校図書館メディアの収集(2)：メディア選択理論・選択方針の作成
3	学校図書館メディアの収集(3)：メディア選択の方法・選択ツールの種類
4	学校図書館メディアの収集(4)：メディア選択の注意点・評価
5	学校図書館メディアの収集(5)：リクエストサービスの意義と問題
6	学校図書館メディアの整理(1)：分類法① 資料組織化の意義・NDC
7	学校図書館メディアの整理(2)：分類法② 第一次区分(類)の理解
8	学校図書館メディアの整理(3)：分類法③ 著作の内容分析・NDCの使い方
9	学校図書館メディアの整理(4)：分類法④ 補助表を用いた分類
10	学校図書館メディアの整理(5)：目録法① 書誌階層と書誌単位の考え方
11	学校図書館メディアの整理(6)：目録法② 書誌的事項と区切り記号
12	学校図書館メディアの整理(7)：目録法③ 標目と目録カードの作成
13	学校図書館メディアの提供(1)：請求記号の作成、資料排架法
14	学校図書館メディアの提供(2)：資料別置法、館内レイアウト、新刊案内
15	学校図書館メディアの保存：汚損破損盗難、公衆道徳指導、蔵書点検と廃棄基準、除籍の方法
16	試験

【履修上の注意事項】

- 1) 4月に開催される「学校図書館司書教諭課程オリエンテーション」に必ず参加し、司書教諭科目の取得方法、履修の順序などを確認した上で履修すること。
- 2) 学校図書館メディアの整理のパートは、図書館4階学習室で授業を行う。
- 3) 分類、目録は、図書館情報学の中でも特に難しい分野であるため、毎時間の課題にはしっかり取り組み、積極的に質問し、疑問を次回に残さないようにすること。

【評価方法】

定期テスト・・・100点(期末試験の到達度により評価)

レポート・・・10～20点(※单元ごとに提示する自由課題を提出した場合はテストの点数に追加して評価する)

平常点・・・0点

【テキスト】

テキストは使用せず、プリントを配布する。

【参考文献】

もり・きよし原編『日本十進分類法』(新訂9版)、日本図書館協会、1995

日本図書館協会編『日本目録規則』(1987年版改訂3版)、日本図書館協会、2006

情報メディアの活用

担当教員 吉田 肇吾

対象学年 3年

単位区分 必

準備事項

備考

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

新しい教育内容と方法を踏まえて、学校図書館の資料・情報環境の整備把握し、さらに司書教諭の新しい役割について、より実務レベルで具体的に総括する。

また、情報機器を使用した演習課題を通して、学校図書館における実務的な知識と技能を身につける。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション：科目内容の説明
2	情報メディアの発達と学校図書館
3	学校でのメディア教育・図書館教育の観点
4	情報社会の学校図書館
5	情報教育と学習指導要領
6	学習活動とインターネット
7	司書教諭の実務的役割 1
8	司書教諭の実務的役割 2
9	司書教諭の実務的役割 3
10	学校図書館資料の各種選択基準
11	教育用ソフトウェアの内容と選定基準
12	学校図書館メディアと著作権 1
13	学校図書館メディアと著作権 2
14	学校図書館関係資料 1
15	学校図書館関係資料 2
16	試験

【履修上の注意事項】

出席回数が3分の2に満たない者には、原則として単位を与えない。

【評価方法】

出席状況及び期末試験（+課題の提出状況）による総合的評価とする。

【テキスト】

【参考文献】

『情報メディアの活用』 同編集委員会編 全国学校図書館協議会 2011（シリーズ 学校図書館学5）
「学校図書館・司書教諭講習資料」第6版 全国学校図書館協議会編 全国学校図書館協議会 2009

読書と豊かな人間性

担当教員 田名 洋子

対象学年 3年

単位区分 必

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

現代の児童生徒の実態に即した読書教育理念、読書の生活化をはかる方法を解説する。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	読書の意義と目的
2	読書と人間形成
3	児童青少年の読書
4	読書環境、読書教育
5	学校図書館の役割
6	発達段階と読書(1)：小学生
7	発達段階と読書(2)：中学生
8	発達段階と読書(3)：高校生
9	資料の種類と特性(1)：絵本、伝承文学、
10	資料の種類と特性(2)：児童文学、文学、伝記
11	資料の種類と特性(3)：ノンフィクション、参考図書、マンガ
12	読書の指導方法(1)：集団的指導
13	読書の指導方法(2)：個人的指導
14	家庭、地域関連施設との連携
15	授業のまとめ
16	試験

【履修上の注意事項】

出席日数が3分の2に満たない者には、原則として単位を与えない。

【評価方法】

期末試験、またはレポートと出席日数で総合的に評価する。

【テキスト】

『読書と豊かな人間性』 赤星隆子編著 樹村房 1999 (学校図書館 実践テキストシリーズ5)

【参考文献】